



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/21

私は、原爆の話聞いて、こわいな。と感じました。でも、こわさを知れたことで、次世代につなげることができると思いました。話の中で、びっくりしたことがたくさんありました。その中でもとくにびっくりしたことが、いくつかあります。1つ目は、原爆投下予定の都市のことです。「候補になかった都市」という資料を見て、びっくりしましたが、横浜や、新潟、京都に投下予定だったということが、びっくりしました。

2つ目は、池田義三さんの思いやりのあるやさしさです。自分も苦しいのに、色々な人を助けたり、たくさん活動していたことです。私だったら、嫌でサボっていたかもしれません。義三さんのやさしさを見習いたいです。3つ目は、原爆の熱さです。中心は、100万℃なんて想像もつきません。投下場所も3000℃なんてびっくりでした。以前、ごみ処理場で燃やしている温度が、600℃から1000℃だということを知ったので、その3倍の熱さな

んで、どうしようもないくらいすごいです。
今は核兵器を持つ国もあるので、その国に
こわさを教えて、「核なき世界」にな、てしま
いす。今日、学んだことは、一生忘れな
いようにします。今日は、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のこわさや原爆のせいで広島が
どのようなになったか原爆の爆発のし
かたリトルボーイのおもさや爆発した
ときのことかわかりました。しょうがミ波の
ろ虫さ熱線のあつさは太陽の温度より
約1000℃も高いこと、ま土から熱線を受
けたらいっしょのうちに体中の水分が
なくなりすみにたりになごなになってしま
うことを知って、戦争やたたかいはこ
ろいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくが、この原爆先生の特別授業を聞いて、一番印象に残ったのは、原子爆弾のいかにです。直径200 mほどの原子爆弾の中心の温度は100万度、表面温度も約7000度に達しているのだ、まるで小さな太陽がぶつかってくるのと同じくらいだと思うと、原子爆弾の恐ろしさが改めて分かりました。しかも、熱線、衝撃波、放射線が次々に人々をおそったと思うと、その時広島がどんな様子だったか、全く想像が付きません。特に、衝撃波の速さが毎秒440 mと、音速よりもはるかに速いことにおどろきました。たった1つの原子爆弾で、都市全体をこわしてしまうことに、おそろしさを感じました。そしてもっとおどろいたのは、広島に落とされた原子爆弾「リトルボーイ」の1000倍くらいのいかにある原子爆弾が、もうこの世に10000発以上も存在していることです。この原子爆弾を一気に爆発させると、地球全体がこわれてしまうことを聞き、自分たちをも犠牲にする核兵器を、なぜ人間は開発するのだらうと思いました。7000人の少年「リトルボーイ」によって、せうな14万人や、今も後遺症で苦しむ人たちがいることを受け止め、世界の核兵器廃絶に向けて、少しでも役に立ちたいと思いました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、昔第二時世界大戦が
あつてすごく苦勞したということがわかりました、ぼくが一
番わかったのは、1、 Guamの方の島からエノラ・ゲイが飛んで来て
広島が破壊されたことです。そして、町の人達が手から「う
み」が出ていてとても、かわいそうだなと感じました。

もう一つは、火暴弾の温度です、太陽は6000℃です、
火暴弾は7000℃です、すごいと思いました。その時、思
ったのは、今とつぜん原子爆弾が落とされたらどうし
よう？と不安になりました。町の人々がたくさん死をむか
えて、はい助かった人はすごくきせきなんだなと改めて
思い、感じました、死亡率が40%とは考えられません。

最後に池田さんに話を聞いて、池田さんはなみた
を出されたので、すごくつらい思いをしてかえったんだな
と改めて感じました、後もう一つ今ネットにのっている
第三時世界大戦がもしおきたらこわいと思いました



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話を聞いて心に残ったことは、皮膚が剥けたくて、ななめ前に手を出して歩いてしまったこと。地上600mで爆発して、地上の温度が3000℃になり、近くにあった建物ほぼ全てを焼いたり溶かしたりしてなくなりました。これを聞いて、かおるうたし、死んでしまった人も急な出来事で、かわかたと思います。

爆弾の名前は「リトルボーイ」。日本語にすると小さな子とゆう意味、口末です。

原子爆弾「リトルボーイ」の燃料は、ウラン235（ゴルフボールと同じ大きさの燃料）。

これだけで、広島市が焼け野原になってしまっていました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話を聞いていろいろ
と分かりました。ぼくが「いちばん、じい残っ
たのは、リトルボーイが落ちてきて衝撃
波でいっしょにそこらじゅうがやけの原い
なりました。せ田さんが人々を助けい
ってトラックで手をひっぱったらいふか
はがれおちてころがっていったところか
かわいそうになり、そこが「じい残り
ました。ぼくも大人になりもし期木幾
があたり広島の実験館に行き
たいです。いろいろと知れておかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ぼくが1番印象に残ったことは
人間が1しゅんて消えることです。
300万もある人は1しゅんて^山炭になってし
まったら熱い熱い丸が出るなんてすごいと
思いました。皮膚がただれるなどして生
きる人にはトウモロコシみたいになっていても
生きている人はすごいと思いました。太陽
の表面より熱い原爆の表面、太陽が
近くにあって日本はどうなってしまうか
と思いましたが、兵隊さんのおかげで
死体もくさることなく未来のために働い
てくれた兵隊の方々は本当にす
ごいと思いました。死者は多くで
て本当に悲しいで、それがその人のために
も生きていかないとはいけないと思いまし
た。戦争は本当に残虐なことです。だから国
の争いがないようにしてほしいと思いまし
た。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ぼくは原爆のこと、ニュースでしか見たことがなかったけど、池田先生の話を聞くと、すぐにその状況がうかづいて分かりやすく、原爆のことが分かりました。ただ一つだけ質問があります。池田先生が一番印象に残ったのはなんですか。なぜ聞こうと思ったかと言うと、ぼくは、中学校の自由研究で原爆について言いたいなと思いました。その研究に、池田先生が書かれた、「原爆先生がやってきた。」も使いたいなと思いました。あとその時に使った資料も使いたいです。最初に言ったとおり分かりやすく、音や重力画や画像を使って分かりやすくしてくれてありがとうございます。ございませう。池田義三さんの話も聞けて良かったです。言っていた博物館も見たいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話を聞いて、原爆のことについて、知ることができました。

原子爆弾を落とされた都市に、住んでいた人は、ひどいやけどで、皮膚がはがれおちていたりして、話を聞いていて、とてもかわいそうだと思いました。広島に投下された原爆は、47もあり、時速300kmでとんでいったと聞いて、私は、その場にいたら、10ニッケウになっていたと思いました。原爆は、600mのところでふくれあがり、温度は、100万℃にもたっていて、周りには、7000℃もあり、頭の上には、熱い球体があったと聞いて、すぐ、胸にさされました。衝撃；皮の速さは、毎秒440m、その衝撃で建物が、はかいしたりと、すごく大変だったと思います。見える景色は、灰色の世界でとてもおどろきました。広島に落とされたのは、ウラン原子爆弾で、ウランは、60kgで、ねんしょうしたのは、1kgだと聞いて、とてもおどろきました。

私は、話を聞いて、ずっとこの幸せな世界が続いてほしいと思いました。この話を聞いて、とても良かったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は以前「はだしのゲン」を少し読んだことがあり、とてもこわかったです。だから「手足がたたれて...」などは想像できて、とても印象に残りました。私は原爆先生のお話を聞いて、本当に、戦争はみにくくひどい争いなんだなと思いました。私は、7000℃、3000℃なんて想像ができませんでした。そして、手足がたたれるなんて考えたくもありません。私はこわくてあまり話を聞きたくない!と思ってしまいましたが、この話を聞き、分かったことがあります。1つは、爆だんの中に、100万℃もあり、回りが7000℃、下が3000℃もあることと、2つ目は、戦争がすごくこわいということです。原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講してたくさん学びました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが原爆先生の特別授業を受講して
印象に残ったことは、被爆の姿を手紙を聞いて
想像したことです。人間の皮がはがれ、人間のうみが
でているということから、とてもぞんこくだったのだな
と思いました。あと原爆の「リトルボーイ」は、4セもす
るということが、衝撃を受けました。
原爆について教えてくださって、とてもおどろ
いたことは、衝撃波の速さが、音速より速いとい
うこと、ウラン1kgで広島市を破壊したこと
から原爆のおそろしさを教えてくれました。あと、
表面温度が太陽よりも暑い7000とだとい
うことが、一番のおそろしさだと思います。
ぼくは小倉に落ちてたらどうなっただろう、
広島小倉にも落ちてたらどうなっただろうと
考えましたが一番落せないことが大切だと思
いました。知らないことが知れたのでして
もためになりました。本当にありがとう
ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

私は、人が歩いてくる時に手をななめ前に出して歩いてくると聞いた時「ナナメ前だろうか?」と思いました。その後、原爆先生が「手をななめ前に出さないとすれて痛い」と言われて納得出来ました。爆弾^{ばくだん}が落ちた時の音を聞いた時とてもビックリしました。爆弾^{ばくだん}は、太陽よりも熱く真ん中の温度は100万℃。それを聞いた時私は「えっ!」と思いました。クイズ形式で答えた、1kgの事など、沢山の事を知れて良かったです。最後に、池田義三さんのビデオもあり、本当に大変だったんだなと改めて思いました。資料にメモを書きこんだ時、アメリカが考えた、爆弾^{ばくだん}投下都市の条件や、候補にならなかった都市で京都市が強くおされていたのに、候補から外された理由なども詳しく知れて良かったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私が、原爆先生の特別授業を受講して、一番印象に残っているのは、皮膚がただれてしまっているということです。人間の一生のうちで、原子爆弾も落とされて、両手をななめ前に持ってきたりして、そこまで苦しむことは絶対に無いのですごく怖いなと思いました。原子爆弾の名前は「リトルボーイ」。直訳すると、小さな子または、少年です。少年が落ちてくる、となると最早人を信じられなくなるくらい、いやそれを感じる前に、亡くなったのだと思います。広島の人口は約35万人。そして、被爆した人たちが約24万人。その中で亡くなってしまった人たちが、約14万人。あまりに無残な最期だったと思います。生きた人にウジ虫がわくのは今の日本ではどうも考えられません。あと亡くなっていった人たちは、自分が死んでしまったことに気付いていないと思います。ユークリートの階段の上に腰かけていた人が、一瞬間にして黒いかげのようなしみになってしまったり、親子が蒸発したように見えたり、原爆先生のお話を聞いてよく分かりました。最後に、クイズ形式だったり、DVDを見せて頂いてどれだけおもしろいのかがよく分かりました。これから、身近な人に語りついでいきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、一番心に残った、印象が強く残っていたのは、原爆「リトルボーイ」の爆発で、広島市の中心地が消えたけど、ウランを全部使ったわけではないことです。

ウランを60キロも乗せたけど、1キロだけで広島市が灰になったので、おどろいたし、それ以外にも、皮がとけおちるとか、死臭があるとか、ぼくだったらたえられない事で想像すると、気分が悪くなりました。爆弾について一番おどろいたのが、衝撃波が音速より速い事です。言話の中でドラム缶で防ぐ事が出来たけど、音より速い衝撃波を止める事が出来るとは思っていませんでした。

熱線については、想像を間違っていました。太陽が真上にあつたら、一瞬で、火になるか、ちりになると思っていました。それで、衝撃波がおきるので、たまった物じゃない、いかになります。平和な時には、生まれたぼく達は、大人になったら、子供に伝えたいと思います。